

なぜ？

森林は二酸化炭素を吸収してくれる働きがあるため、地球温暖化対策としてとても良いことのように思えます。しかし、実は森林面積が広がりすぎることは持続可能な社会にとって意外なデメリットがあるのです。

一定の大きさまで育った木は、二酸化炭素を吸い込む量よりも吐き出す量の方が多くなってしまいます。さらに、背の高い木が山を覆ってしまうと低い木が育たず、その実や葉っぱを食べる野生動物が生きていくことができません。そのため、野生動物が人里に降りてきて畑を荒らすなどの被害が出てしまっているのです。

これらを防ぐためには、定期的な間伐を行い、適正な管理を行うことが非常に重要なのです。

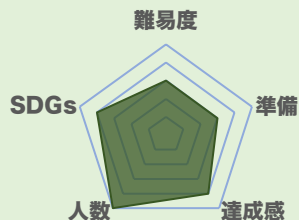
目的

- ◆ 日本の林業の現状を知る。
- ◆ 社会と自然の共存について考える。



食べる道具を作ってみよう！

- ◆ 間伐材や虫食いの木材で食器（箸やお椀など）を作りましょう。
- ◆ 実際のキャンプや隊集会で使ってみましょう。



スカウト技能

- ナイフ
- 計測
- 森林
- 安全
- 防災
- 環境保護
- キャンプクラフト
- サバイバル

ゲーム性

作った食器の芸術性や実用性を競ってみましょう。

指導者へのヒント

- ◆ 林業に携わる人のサポートが必要です。
- ◆ 間伐材ではなく、竹林整備で竹を使うのも可能です。
- ◆ 器用なスカウトは竹細工などをやっても良いでしょう。

発展

作った作品をフリーマーケットで売って収益を上げてみましょう。持続可能な社会について議論してみましょう。



防災

植林では適正な間伐がされていないと、山では土砂崩れ、下流では漁獲量の減少などの災害を引き起こす可能性があります。今では、林業の衰退などで適切な間伐が行われていない森も増え、山の保全活動で間伐は欠かせません。



社会

虫食いの跡も個性としてデザインに取り入れた家具や雑貨の制作が行われるようになってきました。人と山の関係を守り、作り手と使い手が一緒になって山を守っていけるような持続可能なものづくりが求められています。



森のお友だちを見つけよう！

- 集会場の近くの森林で見つけた枝や木の実を集めよう。



森林の整備を実践しよう！

- なぜ森林が豊富なのに外国産の木材を輸入するのかを調べてみましょう。



身の回りの植物を観察しよう！

- 集会場の近くの森林の様子を観察し、発見したことを発表しよう。



共生サイクルを実践しよう！

- 人と森林の関係を知り、災害を防ぎ、森と共生する方法を実践しましょう。



参考

- 日本森の十字社 (JAPAN FOREST CROSS) : <https://bichiku-boku.jp/>
- Boku Moku : <https://www.bokumoku.org/>

班長訓練の取り組み方

以下の項目の技術指導及びディスカッションをしてみましょう。

12. 観察章

3. 「ハイキングで観察物を3種以上の方法（写真、スケッチ、拓本、採取など）で記録する。」

33. 木工章

1. 「木材10種以上を見分け、その特徴と用途を知ること。」
2. 「のこぎり、糸のこぎり、かんな、のみ、小刀、きり、ドライバー、金づち、ペンチ、「釘抜きを正しく使用でき、その手入れと保存を実行していること。」
3. 「木材の接合（貼り付け、釘付け、簡単な接手仕口）ができること。」

40. 森林愛護章

1. 「灌木及び喬木それぞれの10種以上を識別し、その名称と特性を説明できること。」
2. 「用材となる植物10種以上を知り、それぞれの用途を述べること。」
3. 「森林愛護のための立札などを作り、標語、ポスターを作って掲示すること。」
4. 「森林を害する害虫と害獣を知り、その防除法を知ること。」
5. 「樹木の種子3種以上を採集し、たねまきした経験があること、または実生の採集、移植の経験を有すること。」
6. 「植林の経験（新植、間伐、下刈り、手入れのすべて）を有すること。」
7. 「森林被害の統計を調べ、その原因について考察すること。」
8. 「森林火災の予防措置と消火法及び森林火災発見に際してとるべき措置を知ること。」
9. 「「自然保護憲章」の概要を知り、説明できること。」

77. 環境保護章

1. 「環境保護の意義を知ること。」
6. 「「持続可能な開発」について、次の点に留意し、内容を説明できること。」
7. 「国際的にどのような取り組みが行われてきたか」
8. 「環境保護活動に取り組むための計画を立て、実施し、その結果を隊長に報告し承認を受けること。」

班集会の取り組み方

- 環境保護、森林愛護において自分たちができることについて話し合う。
- 人と森林が共生している事例を調べ、発表する。
- キャンプで用いる道具で、倒木や間伐材を利用して作れるものを調べる。
- キャンプで使う食器などの道具を作るための工具や道具を整備する。

隊集会の取り組み方

想定文

私たちは、自然と共生して生きている。人間のわがままを続けていけば、いずれ自然は破壊され、私たちの今の豊かな生活は続かない。森林は二酸化炭素を吸収してくれる働きがあるため、地球温暖化対策としても良いことだ。しかし、意外なことに、森林面積が広がりすぎることは持続可能な社会にとってデメリットがあるのである。例えば、一定の大きさまで育った木は、二酸化炭素を吸い込む量よりも吐き出す量の方が多くなってしまふ。さらに、背の高い木が山を覆ってしまうと低い木が育たず、その実や葉っぱを食べる野生動物が生きていくことができない。そのため、野生動物が人里に降りてきて畑を荒らすなどの被害が出てしまう。これらを防ぐためには、定期的の間伐を行い、適正な管理を行うことが非常に重要なのだ。

課題例（キャンプに向けて）

- 身近な森林を調べて、どのような整備が行われているのか調査しよう。
- 森林整備で発生した倒木や間伐材の多くは捨てられてしまっている。これらの森林整備で発生した端材を用いて、キャンプで普段使う食器などの道具を作ってみよう。

◆留意事項

- 安全に十分配慮し、入念な計画を立てた上で実施しましょう。
- 林業に携わる人のサポートが必要な場合があります。
- 私有林・国有林など地域や自治体におけるルールを必ず確認をしましょう。
- 風倒木を利用するのも良いでしょう。

